

令和	7	年度	年間授業計画	教科	国語	科目	現代の国語								
教科：	国語		科目：	現代の国語		単位数：	2	単位							
対象学年組：		第 1	学年												
教科担当者：		A組	石井 幸恵	B組	正治 知子	C組	石井 幸恵	D組	石井 幸恵	E組	正治 知子	F組	正治 知子	G組	石井 幸恵
使用教科書：		『高等学校 精選 現代の国語』第一学習社													

教科	国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目	現代の国語	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 ・ 聞	書 ・ 読					
1 学 期	単 元 1 評論の構造理解と文化比較	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる	「水の東西」山崎正和			文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方の評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる	教科書等			「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方の評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	単 元 2 言語についての役割の理解	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる	「ものとことば」鈴木孝夫			言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる	教科書等			「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説								1
	単 元 3 自分の考えを文章化して伝達する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる	書き方の基礎レッスン			話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる	教科書等			「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	単 元 4 話す目的や相手に応じて話し方を工夫する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる	話し方の工夫			話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること	教科書等			「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説								1

令和	7	年度	年間授業計画	教科	国語	科目	現代の国語								
教科：	国語		科目：	現代の国語		単位数：	2	単位							
対象学年組：		第 1	学年												
教科担当者：		A組	石井 幸恵	B組	正治 知子	C組	石井 幸恵	D組	石井 幸恵	E組	正治 知子	F組	正治 知子	G組	石井 幸恵
使用教科書：		『高等学校 精選 現代の国語』第一学習社													

教科	国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目	現代の国語	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 ・ 聞	書 ・ 読					
2 学 期	単 元 5 評論の対比構造の理解	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる	「『文化』としての科学」池内了			文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる	教科書等			「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	単 元 6 日本文化の理解	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解することができる。	「無彩の色」港千尋			比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。	教科書等			「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説								1
	単 元 7 現代の情報・メディア理解	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	7
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	「現代の『世論操作』」			論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。	教科書等			「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	単 元 8 現代の政治経済の理解	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き言葉を豊かにすること。	「フェアな競争」内田樹			実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き言葉を豊かにしている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。	教科書等			「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【学びに向かう力、人間性等】				
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	デジタル便覧、インターネット			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説								1

